

## 福井の公共交通の未来は？

平成21年度 都市化研究公室 研究・活動報告会 開催！



●関連記事 4～5ページ

### ☆☆活動報告☆☆

- 4月17日 福井市市民活動助成金説明会
- 25日 福井県サイクリングコース点検ライド
- 5月12日 事務局会議
- 16日 臨時理事会

### ☆☆今後の予定☆☆

- 5月22日(土) 福井市市民助成金公開プレゼン
- 5月21日(金)～22日(土)  
全国路面電車サミット富山大会
- 5月23日(日) 定例総会
- ROBA 設立10周年&ROBANEWS100号記念フォーラム
- 6月18日(金) 例会、理事会(予定)
- 6月3日(木) MW&CFD アワードの授賞式
- 6月20日(日) 地域バス調査隊(勝山市)

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「日本の珍々踏切」の続編ともいえるこの本、しかし解説の論理性等がパワーアップされている。珍しい踏切とは技術者としては望ましくない踏切が多く、減っていく運命にあるのではあるが、なかなか地元の都合でなくせないことも多いのである。旧京福永平寺線の廃線跡や、福井駅付近連続立体交差事業に伴う新福井駅の踏切切り替えなどの話題も出ている。

踏切天国 小川裕夫

秀和システム 1900円+税

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第1回目の報告は、提案者から行うことになり、私が担当します。なぜ「ホジロバ体験記」の提案をしたかという、私自身、公共交通機関をほとんど利用していません。ROBAの会員なら年に1回ぐらい使ってみてもいいだろう。日ごろから公共交通を利用している人も、普段使っていない路線を使ってみたらどうですか。そこで気付いたことや、感じたことを報告してもらい、ROBAニュースの載せる。「地域バス調査隊」も本年度から始まります。利用しやすい公共交通を提案する参考になれば良いのではないかと。そして、公共交通の利用者増加にもちよっぴり貢献できるのかなー？。



● 右側の駐車場がP & R用

私は、福井で唯一？、路線バス専用のパークアンドライド駐車場があるスカットランド九頭竜停留所を利用してみることにしました。3月14日（日）、8：39発で福井市内へ、ROBAの臨時理事会に出席の為、利用しました。バスは、3分遅れの8：42にきました。乗客は高校生風が4名、高齢者が3名乗っていました。スカットランドのバス停からは、私を含め2名乗車しました。日曜の便としては結構乗っているように思います。駐車場には先客が1台そして私の車が止まり、合計2台のみです。駐車スペースは、15台分です。平日の駐車台数も1台ないし2台です。ほとんど利用されていないようです。帰りは13：32発に乗りました。これも、3分遅れで到着です。帰りのバスを待っているとき、高齢の女性の方が、息を切らしてやってきました。彼女曰く「このバスを逃すと1時間半待ちになるので急いできた。」と言っていました。福井市は鮎川線+川西経由三国線を基幹バスと謳っていたはずですが、でも、時刻表を見ると、1時間に1本も走っていない時間帯が3回も有ります。10分に1本の時も有りますが。これで基幹バスとはとても言えないと思います。基幹バスは、30分に1本が基本でしょう。もう少し、両方の路線の時刻表を見直しすることで実現できると思います。そうすれば駐車場の利用者も増えるのではないのでしょうか。平日の最終便が22：32と言うことがわかりました。これは使えます。というより使ってみました。2回も使いました。どちらの日も乗客は10名前後でした。終着のスカットランドまで乗車した人は、2、3名でしたが県立武道館あたりまでは、会社員の方が利用しているように感じました。これなら安心して残業も出来ますね。路線バスはスピードを出します。終点には定刻に到着です。路線バスがこれほどスピードを上げるとは思っていなかったのが驚きでした。話では、郊外の路線バスは定刻より早く来ることが多いと聞いていたのでなおさらです。

# ふくいのりのりマップ第7版発行しました マップ部会 林 博

ふくいのりのりマップ第7版を4月26日現在の情報をもとに改訂して、表紙付6000部、ミニマップを8000部発行しました。ふくいのりのりマップ2版、福井市内バス案内所マップ改訂版と同じ緑色にしました。店頭には5月6日に並ぶ予定で、会員の皆さんには総会でお渡ししますので、多数ご参加ください。



のりのりマップ2010第7版



のりのりマップ2版



敦賀市内方面別色分けマップ

また、今回の改訂の大きな特色は、各市のコミバス情報を充実させたことで、とくに敦賀市内コミバスは大改訂に合わせて、方面別に色分けしたマップを提案したことです。市が発行するバスマップは、15路線を15色で表現しているため似かよった色も多くて識別しにくく、ROBA提案のマップを発行することを了解していただきました。提案内容は上のように、福井市内バスマップに合わせて、北：茶色、西：橙色、南：緑色、東：青色とし、また、福鉄路線バスは赤色、観光ルートは紫色としました。市民の意見を聞いて改善していきましょう。

## 趣向を凝らした“新”月例会スタート！ 都市化研究公室研究・活動報告会開催

平成 22 年度第 1 回目の月例会が趣も新たに「平成 21 年度（財）都市化研究公室研究・活動報告会」をテーマに 4 月 16 日（金）開催されました。（今年は月例会がいろいろ、楽しくなりそうです！）

（財）都市化研究公室の研究・活動助成については、平成 18, 19, 20 年度は IRE との共同研究として「地方都市福井における公共交通のあり方」をテーマに LRT 研究を行ってきました。とくに平成 20 年度には、「全国路面電車サミットを通じた市民への啓発活動」をサブテーマに研究活動を行い、

- ・モビリティセンターの重要性
- ・交通事業者、行政、NPO による実行委員会での運営の重要性

が、その中で評価され、さらにそれを深めていくことが研究活動課題とされました。

今年度は、その課題を受けて、『モビリティウィーク&カーフリーデーを通じた市民への啓発活動』をテーマに取り組みました。会員の皆様や、公共交通事業者や環境 NPO、行政の方たちにも、実行委員会や当日の運営への参加などを通して、連携した取り組みにご協力いただきありがとうございました。

（カーフリーデーふくい 2009 の活動内容や「まちづくり貢献賞」受賞については 92 号、96 号参照）

この報告会は、研究・活動の「外部評価」という位置づけも兼ねて実施しており、今回の研究・活動を含めたこれまでの ROBA の「公共交通を活かしたまちづくり活動」を振り返るとともに、現在の到達点を見極め新たな活動の出発とするために、ROBA の取り組みあるいは関係団体との連携した取り組みに対して、数多くの助言や提案をいただくことができました。詳細につきましては、後日報告書にまとめてお知らせする予定ですので、今回はその一部の報告とさせていただきます。

### ■報告会出席者：

福井市都市戦略部交通政策室（2 名）、えちぜん鉄道（2 名）、福井鉄道、京福バス、まちづくり福井、FBC 福井放送、福井市環境パートナーシップ会議、福井大学教授・准教授・学生、地域環境研究所、都市化公室（光多長温理事長、今野修平評議員）、ROBA（10 名）の総勢 25 名

### ■重要な指摘事項：

- ・NPO としてはかなり最大限に近い活動ではないかと感じており、活動の限界も見えてきているのではないかと。今後、LRT をどのように動かしていくかにこだわるなら、市民参加型の第 4 セクターを目指すのもよいだろうし、また、まちづくりを動かす活動に主体をおくのもよいのではないかと。
- ・ここまでの労力を注いだ活動に敬服している。一方で、公共交通に対して権限を持っていない NPO が何をやろうとしているのか、ビジネスでもなく、どんな意味があるのか、常に厳しくチェックしていく必要がある。それがないと、レンズの焦点が合わなくなってしまうことを危惧している。
- ・公共交通事業は法律に基づき縦割りで運営しているが、横の連携がないために情報が偏ってしまっていることが問題だ。地域のバス電車が国の縦割りをそのまま受け入れて、そのまま狭いエリア内だけで運営しているが、公共交通だけではたしてこの問題は解決するのだろうか。たとえば、福鉄とえち鉄が一体的に経営すると、今までとは違った答えが出てくるのではないかと。銚子電鉄や江ノ電のように鉄道事業法に縛られない経営をすることにより、電車が来ない間の社員の暇な時間を有効活用したようなビジネス（「ぬれ煎餅」や「たいやき」）や寄付活動がうまれ、それが鉄道事業を支えるような事例が出始めている。ROBA も縦割り法律の枠から抜け出して、活動し、提案し、実行することができないだろうか。

（文責：林 博）

## 都市化公室の報告会に参加して

畑 みゆき

都市化公室の報告会がアオッサで行われました。この報告は「地方都市福井における公共交通のあり方」として、昨年度のカーフリーデーを主に研究・活動報告書をまとめ、ROBA以外の方の評価を頂くために、報告会を開催しました。

この報告会には、助成を下された都市化公室の光多先生や今野先生が東京より参加され、また、ROBAメンバーを含め関係者の方々、総勢25名が参加しました。

報告会の時間も限られていることから、ひとつひとつしか、意見や感想を述べてもらえませんでした。が、「カーフリーデーの取組みは評価できる」と言った意見や、「NPOの活動、特に公共交通に関する活動はマニアの集団とのイメージがあるため、行政と市民の中間的なコーディネーターとしての活躍を期待する」、「ソフトな取組みとハードな取組みを組み合わせるかどうか」、「NPOではハードな関わりが難しいため、ハードな取組みをしたくなるようなソフト部分を充実させてはどうか」等、様々なご意見を頂きました。

ROBAを始めたきっかけである「交通とまちづくり」。この初心は忘れていないのですが、会が設立したと同時に様々な問題が起こり、マニア的な部分がクローズアップされました。一方でソフトな取組みも数多くやってきたのも確かです。今後はこの見えなかった、見てもらえなかった活動を表にアピールして、楽しく取り組んでいきたいと思えます。

## 都市化研究公室研究活動報告会に参加して

岸本 雅行

昨年のモビリティウイーク&カーフリーデーには仕事の都合であまり協力できなかったため、このような会には出席する資格のない私ですが、各団体代表のご意見をぜひ聞きたかったので参加させていただきました。

ROBAからの概要報告の後、出席者から示唆に富む貴重なご意見をたくさんいただきました。私たちの活動に対して、外部の方々から直接ご意見を聞く機会はあまりなかったので、今回の活動報告会は大変有意義な会であったと思います。ただ時間があまりなかったため、意見交換などの時間が十分にとれなかったのは少し残念でした。

最後に都市化研究公室評議員の今野修平先生から、ROBAは今後どのような活動をすべきかについてご助言をいただきました。この中で、福井は住民の2.5%しか公共交通を利用していない。76.6%のクルマ利用者のほとんどはモビリティウイーク&カーフリーデーなどには関心をもっておらず、この人たちをどのようにして公共交通にシフトさせるかを考える必要があると話されました。

今回の多くの貴重なご意見を参考に、ROBA会員としての活動をさらに充実させていきたいと思えます。

# サイクリングロードのネットワーク化に関する サイクリングロードのチェックツアーに参加しました！！

4月25日（日）午後1時から足羽川の花月橋南詰をスタートし、一乗谷の朝倉氏遺跡資料館までの往復22キロの調査に内田さん、清水さん、畑の3人が参加しました。



▲スタート前の様子(3人乗り自転車で挑戦するひと！)



▲持ち物(首から下げられて便利)  
ROBAのレンタサイクルで貸し出し  
キットで使える！

チェックするコースは全部で3コースあり、Aコースは永平寺へ向かう片道25キロの2コースが設定されていました。このコースは往復50キロですが、帰りはえち鉄のサイクリングトレインを利用して帰ることができるようになっていたので、サイクリングもサイクリングトレインも楽しめるコースになっていましたが、ROBA3人組は楽々走れるBコースの一乗谷へ向かう片道11キロ、往復22キロのコースの方へ参加したわけです。  
(本当の理由は、永平寺ルートは走行したことがあったからでした。)

チェック項目は、走行性に関するものとして8項目、周辺環境に関するものとして6項目について自転車で走りながらチェックをしました。危険箇所や標識や街灯が必要だと思う箇所をはじめ、風景が綺麗だと思う箇所など、チェックする項目が結構ありました。

右側の図面に気が付いたことを記入するのですが、この一乗谷のルートは自転車道として整備されていないので、気づきがたくさんあり、書ききれないぐらいにチェックしました。



この自転車道がいつ頃完成するのか分かりませんが、完成したら是非ともサイクリングしては??

☆☆ さあ！チェック箇所を一緒に走りましょう！！☆☆



▲スタート直前：自転車道になっている河川敷



▲道幅が狭く急勾配の箇所。この後民家の敷地内らしき場所を通り抜けないと前に進めませんでした。



▲北陸自動車道をくぐり終わると堤防沿いを走行。交通量も多いので結構危ない。



▲碎石場が横にあり、そのせいか砂利道だった。河川側1m程度だけでも舗装して～。



▲改善箇所ばかりでなく、景色が良い場所もありました。フェンスが途切れると水面が間近に。



▲帰り道：足羽川河川敷からのJRの鉄橋  
青空と電車の景色がサイコー！

(報告 はたみゆき)

快速!! 路面ライダー  
うろし哲



作/漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 part25



以前から気になっていた駅名がないホームです。場所はえち鉄の中角（なかつの）駅と鷺塚針原（わしづかはりばら）駅の間にあり距離的には鷺塚針原駅が近い。

さっそくえち鉄に聞いてみました。

この駅は、京福電鉄時代から設置されており、設置費用は仁愛高校が全額負担したと聞いているとの事。利用は、年に1回の仁愛高校の体育祭開催時だけで、駅近くにある運動場を利用するために、臨時の電車運行も行なわれ定時電車も数本停車するらしい。

このホームを年に1回の利用だけで終わらすのはとてももったいない。運動場や横にある体育館を利用して電車で行けるイベントにもっと利用してほしいですね。今度えち鉄サポーターズクラブに提案してみましよう。

ここから自宅まで車で5分ほどなので、是非、体育祭取材してROBANEWSに紹介してみたいと思いますが……。カメラを持ってウロウロしていると、必ず通報されると思われるので、ここは女性リポーターを派遣したいと思います。

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「100号にリーチはかかりましたが、ROBAがなくなる限りROBANEWSは続くのですね！」

内田(発行責任者)

「いやー99号ですかあ。毎月欠かさず発行していますが、もう意地でも毎月発行するぞー！そんな思いで情報を発信しています。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/